

皆さんのご協力により 安心して通学できる ようになりました



前号の「市長のま
ちづくりメッセージ」
でお伝えしまし

たが、光井峠の県道光日積線をくぐるようにして
走る細い道路は、狭くて危険な県道の迂回路とし
て、主に自転車やバイクが通行しており、中でも
大和地域から市内の高校に通う生徒たちにとって
は、大切な通学路になっています。

しかし、この道路は、県道の法面など周囲に草木
がうっそうと生い茂り見通しが悪く、また、廃屋が
存在し、防犯灯も少ないため、夜間は暗がりが続
き、昼間でも不気味な場所でした。

このため、地域の皆さんから道路環境の改善を求
める要望をいただいていたのですが、このたび、県道
法面を管理する県や関係する土地所有者の皆さんの
ご協力により、生い茂っていた草木がきれいに刈り
取られ、見違えるように見通しがよくなりました。
また、防犯灯が新たに1灯増え、さらには地元警察
署も道路周辺で朝夕のパトロールを実施するなど、
道路環境は大きく向上したものと考えています。

市では、今後も、こうした関係機関や地元の皆さ
んと密接に連携した取り組みを進め、安全で住みよ
い地域づくりを目指すことにしています。

以前の風景



通学する高校生に

話を聞いてみました



古谷麻衣さん（光高校3年生・三輪）…右
清水翔子さん（光高校2年生・三輪）…左

この道は毎日、通
学に利用していま
す。部活などで遅く
なったときは、まだ
通っていませんが、
以前に比べると本
当に明るくなって、
一人でも安心して通
ることが出来ます。

これまで、この上の県道を走っている車が
見えないくらい草が伸びていたので、道がき
れいになったとき「あっ車が見える！」と景
色の違いに驚きました。

国広圭司さん（聖光高校3年生・田布施町）…右
山根昌幸さん（聖光高校3年生・田布施町）…左
僕たちは毎日、田布施から40分かけて高校
に通っていますが、この道がきれいになった
ときは、本当にびっくりしました。



以前は、草や木が邪魔して、前からバイク
や自転車が増えても全
然気づくことができ
ず、たびたび危険な
思いをしました。が、
見通しがよくなり、
きれいになって安全
に通行できるよう
になりました。本当に
感謝しています。

まちの話題

満開待ちきれない！

桜まつりダブル開催

第7回三島さくら祭
第12回ひかるちゃんの桜まつり

4月3日、桜まつりが三島公民館
駐車場と西河原緑地公園でそろう
開催され、あいにくの天候にもかか



わらず、多くの家族連れが訪れ、咲
き始めの桜を楽しみました。

三島さくら祭では、たい焼きなど
のバザーやフリーマーケット、チャリ
ティーピングなどのほか、三島踊り同
好会の皆さんが「マツケンサンバ」を
披露し、お祭りムードを盛り上げてい
ました。三島公民館周辺の桜が道路整
備に伴い伐採されることになり、桜並
木が見られるのも今年が最後となりま
したが、来年以降も祭りの開催が決
まっています。

浅江商店会主催のひかるちゃんの
桜まつりでは、「桜の樹の下音楽
会」などのステージの部、フリー
マーケットやシートベルト体験コー
ナーなどのイベントの部、ひかる
ちゃんの桜寿司などの屋台村の部で
構成されており、多彩なイベントで
来場者を楽しませていました。

子どもの成長願い

シャクナゲを植樹

平成16年度誕生記念植樹

3月27日、冠山総合公園で平成16
年度の誕生記念植樹を行いました。
同植樹は昭和56年から始まったもの
で、今年も昨年に引き続き、冠山総
合公園の園路沿いで実施。平成15年
中に生まれた子どもとその家族66組
が参加しました。

佐野武生くん（東荷）と河村優奈
ちゃん（島田）が末岡市長と一緒に
メインツリーのシャクナゲを植え、
続いて武智功樹くん（三井）が記念
の標柱を除幕。その後、行われた
シャクナゲの植樹では、かわいらし
い手に移植コテを持つ、愛くるしい
子どもたちの姿が見られました。



46年の歴史に幕

石城山青少年宿泊訓練所閉所式

3月31日、山口県石城山青少年宿
泊訓練所で閉所式が行われました。

この施設は、昭和34年に設置され
て以来、46年間で62万人あまりの研
修生が訓練を行ってきましたが、老
朽化等に伴い、16年度末での廃止が
決まりました。

閉所式には、地域住民や歴代職員
など約30人が出席。県教育庁の能美
審議監と末岡市長が玄關に掛けられ
ていた表札を取りはずし、関係者が
46年の歴史を振り返りながら別れを
惜しみました。

閉所後は、その機能が光青年の家
に統合されることとなります。

